



# 母校に エールを！

同窓会会長 長谷川 孝



同窓生の皆様にはお元気にお過ごしのこととお喜び申し上げます。また、常日頃から母校と同窓会にご高配を賜りありがとうございます。令和六年は元日の能登半島地震とその後の豪雨被害の被災者の皆様にお見舞い申し上げ一日も早い復旧、復興が出来ますことをお祈りいたします。それから二十年ぶりの新紙幣発行、パリオリンピックの開催、アメリカ大リーグでの大谷翔平選手の活躍など、スポーツの力で私たちの心が明るくなりました。

さて、母校では夏の第一〇一回全国高等学校野球選手権栃木大会

の石橋高校との決勝戦では惜しくも破れ準優勝でした。試合後、学校に戻り「準優勝報告会」が行われました。今回は体調不良の監督に代わりコーチが監督代行を務め貴重な経験をしました。そして学

校長、野球部OB会会長、野球部保護者会代表、同窓会の私の挨拶がありました。選手からは大切な仲間と共に全力でプレーした喜びと指導をしてくださった監督、コーチ、諸先生方そして選手の保護者の皆さんへ感謝の言葉がありました。その時の指導者、保護者、私からのメッセージを記載します。「三年間努力したことに勝者も敗者もない。胸を張ろう。敗れた今日しか学べないことがある。一人日しか学べないことがある。一人になった時に自分を見つめることにより、思っていた気持ちや考え

発行者  
國學院大學  
栃木高等学校  
同窓会  
(〒328-8588)  
栃木市平井町608番地  
電話 0282-22-5511

第 47 号

が湧き出てくる。そのことを大切にすること。つらいことや、苦しいことを体験したことはその人の強みになる。」このような選手への温かなメッセージがあり、國栃ならではの有意義な報告会でした。それから今年の一月に大阪府花園ラグビー場で行われた第一〇四回全国高等学校ラグビー選手権大会において見事三位に輝いたチームの部訓は「一部員である前に、一生徒であれ」とあり人間形成に主眼を置く教えが良いチームを作っています。この他に母校の部活動には柔道部、陸上部、ハンドボール部、サッカー部、なぎなた部、テニス部、応援部など、文化部では書道部、ミュージカル部、天文学部、コンピュータ部、吹奏楽部、茶道部などOB・OGの皆さんがご指導ご支援をしてくださっています。『ここで学びたい学校づくり』に同窓会挙げて応援致します。

一年を振り返って  
学校長 實島 範朗



國學院大學栃木高等学校同窓会の皆様には、平素より本校の教育活動に御理解と御協力をいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。同窓会の皆様の温かい御支援のおかげをもちまして、在校生は有意義な高校生活を送ることができております。心から感謝申し上げます。

校訓の「たくましく」「直く」「明るく」「さわやかに」のもと、「本気で青春」「生徒一人ひとりが輝いてほしい」「その場所が國栃(ココ)にある」このコンセプトで教育活動を行なっています。令和六年度の合言葉は「不易流行」、江戸時代の俳諧師松尾芭蕉の理念の一つで、私なりの解釈ですが「良き伝統は守り」「新たな取り組み・挑戦」、実際に昨年に引き続きすべての行事を実施しました。新たな



取り組みとして「特別活動の充実」を打ち出しました。放課後、土日祝日、長期休暇中の時間を更に有



ディズニー・イマジネーション・キャンパス

効活用する意味で、放課後、駅前の教育センターを使ってのゼミ型の課外授業、現在、約二百名の生徒が主体的に参加しています。また、春・夏・冬休みに海外語学研修を実施しました。春休みはシンガポール、夏はロサンゼルスとド

今年も部活動の素晴らしい活躍がありました。夏のインターハイでは、柔道部・なぎなた部・バレーボール部・ハンドボール部・ラグビー部が出場しました。柔道部の女子78kg級の酒井結海さんが準優勝、70kg級小林杏遙さんが五位、なぎなた部の坪山遙音さんが三位、



トリーア市 エレクトラル・パレスにて

イツ、そして冬は上海。希望参加でしたが、生徒達は海外を経験する事で見識が深まり、また日本の良さを知ることとなりました。また、女子の特別活動を活性化させる目的で女子硬式野球部を創部し、四月から部員十九名で活動をはじめます。令和八年には女子サッカー部を立ち上げる予定です。

文化部では囲碁将棋部の黒川智美さんが三位、書道部が各種大会で上位入賞の成績をおさめました。また、第一〇四回全国高等学校ラグビーフットボール大会では、Bシードの本校は三回戦で名門京都工學院（旧伏見工）に磨いたタックルで守り勝ち、準々決勝でAシードの石見智翠館（鳥根）を完封。準決勝では連覇を狙う桐蔭学園（神奈川）に前半リードを奪いましたが、14対25で惜敗。笹本直希主将を中心に、部員百二十一名の結束、絆でつかんだ価値のある全国大会三位だと思っています。



春高バレーでは、生井達哉新監督が全国大会初勝利。サッカーでは二年連続、そして野球部は県大会決勝で敗れましたが、間違いなく近い将来全国大会出場を果たしてくれると思っています。

パリオリンピックでは、本校OGの松田凜日選手、田中笑伊選手、内海春菜子選手が女子七人制ラグビーに出場。ブラジル戦では、三名そろってトライを決める活躍をみせ、九位の結果をおさめました。十月には二十一期生還暦の会、十一月には三十二期生卒業三十年の集いの会が開催されました。担任や学年の先生を迎え、昔話に花を咲かせていました。

結びに同窓会の皆様には、今後も母校への変わりぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。同窓会のますますの御発展と、同窓生の皆様の御健勝、御多幸を祈念申し上げます。

◆ 令和6年3月1日、40周年記念館にて同窓会入会式が行われました。その時のメッセージを載せます ◆

同窓会入会式でのメッセージ

夢に向かって!

同窓会会長 長谷川 孝

第62期生の皆さん、卒業おめでとうございます。そして同窓会への入会おめでとうございます。心より歓迎いたします。

皆さんの高校生活はコロナ禍の中での2年間とコロナが5類に移行しての1年間でした。2年生の夏には野球部の37年ぶりの甲子園大会出場が叶い、皆さんにとって良い思い出となりました。コロナ禍の中ではオンライン授業が取り入れられ、部活動、文化祭、体育祭、各種大会の中止や縮小など教育環境が大きく変わりました。その間、皆さんは何を思いましたか。自分と向き合い将来のこと、仲間や家族の大切さを感じたことと思います。

さて、同窓会の目的は会員相互の親睦と母校の発展に寄与することです。母校は1960年（昭和35年）の創立以来37,000人有余の同窓生が県内、県外、さらには海外において活躍しています。昨年は4年ぶりに31期生の卒業30周年集いの会が開催されました。皆さんも何年か経ちクラス会やOB会を開き親睦を図ってください。また年に1回、同窓会会報誌「むらさき」を発行しますので楽しみにしてください。皆さんはここで学んだ縁を大切に『たくましく 直く 明るく さわやかに』の精神で、誇りをもってそれぞれの道へ歩みだしてください。同窓会は皆さんを応援します。

令和5年度同窓会一般会計収支決算

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 決算額, 比較増△減額, 備考. Includes sub-sections for 収入の部 and 支出の部.

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 決算額, 比較増△減額, 備考. Continuation of financial report with detailed sub-sections.

総収入額 16,541,565
総支出額 10,099,116
差引残高 6,442,449

令和6年度同窓会一般会計収支予算(案)

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 前年度予算額, 比較増△減額, 備考. Budget report for R5.

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 前年度予算額, 比較増△減額, 備考. Budget report for R6.

令和五年度の事業報告、決算、令和六年度の事業案や予算案を審議して、承認されました。続いて第三十二期生から「卒業三十周年集いの会」開催についての案内があり会は滞りなく終了しました。



令和六年六月二十二日(土) 午後二時
國學院大學栃木学園教育センター
第六十二回同窓会総会(幹事会)が開催されました。

第六十二回 同窓会総会(幹事会)

令和6年度同窓会本部役員・事務局

- List of officers and staff including: 相談役 川福 基之 (理事長), 名誉会長 實島 範朗 (校長), 顧問 土田 十 (教頭), 会長 長谷川 孝 (9期), 副会長 増山 一夫 (5期) 佐藤 和男 (5期), etc.

お世話になりました、ありがとうございます。
《非常勤》
堀部あけみ
木村 風沙
中山 富夫
木村 風沙
リントバーヨハネスコーネリス (敬称略)
坂本 充正
小野 寛久
岡村 弘子
小林 亮介
中田 勇樹
岩島 修平
石原 彩野
松本 範夫

令和五年度 退職教職員一覽

# 32期生 卒業30周年集いの会



## 国柄の伝統行事を感謝しバトンをつなぐ

三十二期生 実行委員長 黒田 佳克

三十周年集いの会の開催にあたり多くの方からのご支援をたまわりましたこと心より御礼申し上げます。

二〇二四年十一月二

十三日(勤労感謝の日)に執り行われた「三十二期生の同窓会」では百二十一名の同窓生と、来賓十名のご参加をいただきました。参加申し込み期限内に参加意向者数四十八名程度と実行委員全員が青

ざめたことを覚えています。そこから必死で電話やメールによる古典的ではありますが案内をしまして何とか百名を超えることができました。

昨年行われた三十一期生の同窓会に参加をさせていただいた五名が発起人となり、年明けには実行委員十四名が決まり定期的なミーティングを重ね、「参加した同窓生がいかに楽しめるか」というイメージを持って試行錯誤しながら作り上げた集いの会でした。今回の同窓会では「感謝とエールを」をテーマとして開催いたしました。國學院大學栃木高等学校で多くの事を学び、かけがえのない友との出会いがあったからこそ、今こうして成長し社会貢献ができていますと実感しています。久しぶりに再会した恩師の先生方や多くの仲間と昔話や現状を話す中で懐かしさを感じたとともに、それ以上に仲間の存在を感じることで私自身が「勇気と元気をもらった」そんな楽しい時間でした。同じようにそう感じた同窓生が多いうらっしやれば今回の集いの会は大成功だったと思います。恩師の先生や同窓生から「とても良い同窓会

だった」とお言葉をいただいた際には、目頭が熱くなる場面があり上を向いて歩いていました(笑) 諸先輩から引き継いだ国柄の伝統行事は無事に三十三期生へとバトンをつなぐことができ安心しております。

最後に、ここまで一緒に活動してきた実行委員の皆さん、大切な仲間として今後も「感謝とエールを」送りたいと思います。ありがとうございます！

また、ハンドボールOB・OG会長としても在校生にエールを送り続けます。



### 《お知らせ》

#### ◆卒業30周年集いの会

28期生・29期生・30期生のみなさん！皆さんはコロナウイルス感染症感染拡大防止のため、集いの会開催を断念せざるを得ませんでした。これから、学年全体の会を開催されるなら是非ご連絡をください。【補助金を含め集いの会と同様のお手伝いをいたします。】

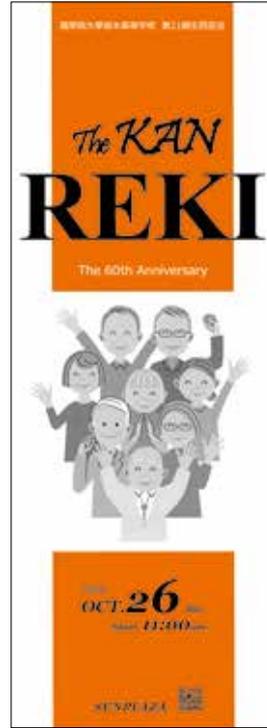
#### ◆クラス会・還暦の会

クラス会には20,000円・還暦の会には250,000円の補助があります。いずれも開催日の前に所定の申請用紙を提出していただきます。まずご連絡をください。

〈國學院大學栃木高等学校同窓会〉同窓会や母校のことお気軽にお問い合わせください。

電話：0282-22-5511 (学校の代表番号です) MAIL: yamanaka@kokugakuintoshigi.ac.jp

# 21期生 還暦の会



宝物、何歳になっても恩師の前では生徒

二十一期生 実行委員長 荒川 浩幸

二十一期生還暦の会を開催しました。普通科十クラス、商業科三クラス、全六百九十七名、うち所在先郵送五百三十五名、参加者百六十余名。

卒業三十周年同窓会を踏まえ、段取り良く事前準備が進み、加えて今回は、二十余名の幹事のグループライン機能をフル活用し、所在不明者の住所整備もスマホが大活躍でした。お元気な六名の恩師に出席頂き、恩師に付けた大きな徽章に還暦の男子生徒は助けられた人もいたはず。今は昔、悪さをした後のお仕置きは、昭和の学生ならではの勲章でしたが、今では名物先生の握力も衰え笑い話です。同級生の夫婦も多く、高校から実際の夫婦を含め三組の夫婦と一組の離婚カップルが登壇して突っ込みどころ満載で楽しい会でした。立派なリーフレットを作成して、式次第や校歌は必須、全参加者氏名掲載、出席欠席の恩師の当時の顔写真と共に一言メッセージは保存版です。何歳になっても先生の前では、私たちは生徒でした。

# 十一期生商業科合同クラス会



令和六年十一月三日(日)、サンプラザ栃木にて商業科第十一期卒業生の三クラス合同による古希記念同窓会を開催しました。恩師である西村俊太郎先生、中信先生にもご参加いただき、お元気な近況を伺えたことは大変喜ばしいことでした。卒業から五十一年の年月が流れる中、各クラスでの会合を重ねつつ、平成二十六年十一月には還暦記念の集いを開催しました。

國學院在学中の三年間を共に過ごした仲間と古希を迎えて再会できたことは、大変喜ばしく感慨深いものでした。一方で、逝去された十三名の友に黙祷を捧げ、月日の流れを改めて実感しました。会場では七十歳という節目を迎えた喜びや人生の思い出を一人ひとりが語り合い、和やかで温かな雰囲気の中で、時間が過ぎていきました。また、校歌

斉唱や「あの素晴らしい愛をもう一度」「太陽がくれた季節」を皆で合唱し、懐かしい青春時代に思いを馳せるひとときとなりました。

今回の同窓会は、これからも続く友情を確かめ合い、ブラボーわが人生健康長寿を願いながら、新たなスタートを祝う素晴らしい集まりとなりました。

代表幹事

- 澤田 信一
- 中村 憲二
- 宇賀 孝夫

# 会員だより

このたび、プロ野球・埼玉西部ライオンズのファーム監督に就任しました小関竜也さんに原稿をお寄せいただきました。

## 原点は國栃野球

三十三期生 小関 竜也さん

中学三年の時、野球の強い所か、進学が望める公立の進学校か悩んでいる時、現在校長をしている實島監督に声をかけていただき、甲子園と進学、両方を狙えると國栃への入学を決めました。實島監督の教えは、自分で考えて答えを出すという教え。悩んでも簡単には答えを教えるはくれませんでした。その代わり、見つけた答えは間違いない自分のものになって、成長を感じる事が出来ました。三十年前の体育会系で最先端の指導だったと思います。

國栃での三年間は本当に充実した毎日で、きちんとした上下関係はありましたが、良き先輩方やかわいいう後輩達、そして最高の同級生達と甲子園という目標に向かって、毎日毎日懸命に白球を追っていた日々は、何者にも代え難い、最高の経験であり、忘れる事の出来ない最高の思い出となっています。一年生から試合に出してもらっていた私自身の力不足もあり、甲子園に出場する事は出来ませんでした。が、國學院栃木を選択した私の判断は間違いではなかったと今でも思っています。



三年生の時の十一月十八日、西武ライオンズにドラフトされ、小さい頃からの夢であったプロ野球選手になる事が出来ました。プロのレベルは高く、最初は体力的にも技術的にもついてい

きません。能力は私より高い選手は沢山いましたが、取り組む姿勢では負けなかつた自負があります。卒業から三十年経った今年、埼玉西部ライオンズのファーム監督に就任しました。選手の野球人生を背負う責任ある仕事だと思っています。選手には充実した野球人生を送らせてあげたい。夢半ばで辞めていく選手も沢山いるからです。その為にも私の原点である自分で考える力、高い意識を持った選手を育成し、良いチームを作って行きたいです。國栃野球、實島野球の卒業生として、誇りを持っています。



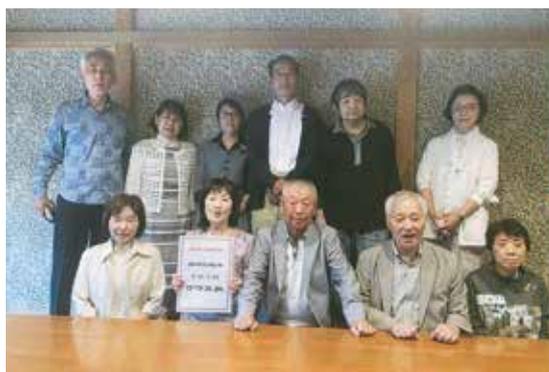
ない事もありましたが、國栃で染み付いた、自分で考えて練習に取り組む習慣が私を何とかプロとして一軍のレギュラーにならせるための原動力になった事は間違いありません。能力は私より高い選手は沢山いましたが、取り組む姿勢では負けなかつた自負があります。

## クラス会 開催一覧 令和六年四月〜十二月

十一期生 普三年八組 令和六年五月十八日(土)



十一期生 普三年七組 令和六年六月二日(日)



十一期生 普三年五組 令和六年六月二日(日)



二十一期生 普三年三組 令和六年七月十三日(土)



十六期生

普三年七組  
令和六年七月二十一日(日)



十三期生

普三年二組  
令和六年八月二十五日(日)



十四期生

普三年十組  
令和六年十月十三日(日)



十九期生

普三年五組  
令和六年十一月十日(日)



◆その他：二十五期生普三年六組、令和六年七月六日(土)開催

に一回の開催なので三回開催することも可能です。詳しくは四ページをご覧ください。

### 《会費納入者芳名》

〔令和五年度分〕氏名上の数字は卒業期。( )内は旧姓

- 二万円
  - 3 青柳庸子(早乙女)
  - 3 佐藤シゲ子(青木)
  - 4 亀田保夫
  - 4 羽山直克
  - 5 池田道夫
  - 5 谷島美知枝(田沼)
  - 6 堀内由美子(大木)
  - 7 渡邊操
  - 8 匿名希望者
  - 9 坂巻操(高島)
  - 10 岡忠昭
  - 11 早乙女住子(高橋)
  - 12 大久保庸子(青木)
  - 12 桑原俊子(赤間)
  - 12 毛部川良子(関根)
  - 13 並木隆
  - 14 匿名希望者
  - 15 山田義則
  - 16 高際ひろみ(並木)
  - 17 磯部文子(塚越)
  - 17 高見沢マリ
  - 17 中山裕子(奥貫)
  - 18 小菅幸百合(大出)
  - 18 菅沼博
  - 18 和賀井幸子
  - 19 井花久子(岩瀬)
  - 19 川島佐己子(大塚)
  - 19 田村美智子(白井)
  - 19 福井保夫
  - 19 藤原美恵子(五十川)
  - 22 五月女善重
  - 22 田名網順子(赤塚)
  - 23 田村泰子(後藤)
  - 24 大澤理江子(但木)
  - 24 落合剛
  - 24 福田瑞穂
  - 26 佐山すみれ(篠崎)
  - 26 宮川麻理子(田口)
  - 26 山岸礼奈
- 二万円
  - 28 北尾滋敏
  - 28 君島広樹
  - 28 関根隆行
  - 28 古澤正克
  - 29 神山拓之
  - 29 中野内圭子(鈴木)
  - 30 上原優子(白崎)
  - 30 早乙女清隆
  - 30 田村寧健
  - 30 野々平武男
  - 30 森下直美(坂本)
  - 31 相子英恵(若林)
  - 31 阿部倫子(福田)
  - 31 上野裕美(荒川)
  - 31 漆原康史
  - 31 大竹慎次
  - 31 澁田雅史
  - 31 庭山美由紀(阿部)
  - 31 橋本晋大朗
  - 31 宮崎孝平
  - 31 大木亘
  - 一万円
    - 8 匿名希望者
    - 11 大嶋孝子(福富)
    - 12 毛塚テル子(早乙女)
    - 五千円
      - 3 菅野豊子(松島)
      - 5 細川純治
      - 二千円
        - 1 天野幸枝(小川)
        - 1 鈴木暁子(加山)
        - 3 中野ミサ子(白沢)
        - 3 野澤民子(青柳)
        - 5 知久光男
        - 7 糸井良治(古内)
        - 9 今井不二夫(和賀井)
        - 9 岡田清
        - 10 竹内秀夫
        - 10 中島敏雄
        - 11 稲見恵子(福田)
        - 11 宇賀孝夫
        - 11 澤田信一
        - 11 島田玲子
        - 11 諏訪雅俊
        - 11 福富善明
        - 13 吉田好伸
        - 15 梅澤静子
        - 16 瓦井恵子(日笠)
        - 16 瀧澤重男
        - 16 間中重男
        - 17 新井登代子(中山)
        - 18 大貫幸子(北原)
        - 19 松田安紀
        - 20 小湊充
        - 21 田中富太郎
        - 21 蘇原めぐみ(山根)
        - 22 阿久津豊
        - 22 比護純子(関塚)
        - 22 布施直人
        - 23 佐々木暁子(小島)
        - 23 高村政司
        - 23 村田浩子(桐敷)
        - 23 山口淑子
        - 24 北嶋直樹
        - 24 北嶋ひろみ(丸山)
        - 24 山本賢
        - 25 中島正高
        - 26 田邊日出幸
        - 27 岩瀬裕彦
        - 28 金澤徹
        - 29 吉田恵(飯田)
        - 29 田中利尚
        - 30 小國祐子(黒須)
        - 30 三瓶正弘
        - 31 岩崎等
        - 31 菊地幸恵(茂呂)

## 女子硬式野球部 創部

令和七年度高等学校に女子硬式野球部が創部します。ここ数年、元メジャーリーガーのイチローさんが女子野球の普及に力を入れていることがメディア等で多く取り上げられています。更には今年度八月に栃木市が、一般社団法人全日本女子野球連盟による「女子野球タウン」に認定されたこともあり、内外の要望も高まり創部に至ったとのこと。

初代総監督には實島範朗校長・監督には五十四期生 矢口隼大が就任。夏には兵庫県で全国大会が開催されます。他の部活と同様に同窓会は応援しますので、皆さんも是非注目してください。



# 第六十一回国学院祭「蓮托生」 本気で青春 君の輝く場所が國栃にある

テーマの「蓮托生」という言葉は、悪いことのみならず良いことも行動や運命をとにもする、という意味があり、仲間との絆を強めたい、という思いが込められている。

## 文化祭

文化祭は九月十四日(土)、十五日(日)に開催され、両日とも多くの来場者があった。近年クラス参加で人気があるのは参加型アトラクションや映像制作。来場者が楽しめるようにとさまざまな工夫が凝らさ



▲「君に届け この音色」(箏曲部)  
屋内売店▶(S3の1、S3の2) 憩いのひととき



スターツアーズ (B3の2) 銀河系をご案内

## 体育祭

体育祭は十月二日(火)に開催された。当日は秋晴れの爽やかな天候に恵まれ、学年種目、一般種目、部対抗リレーなど、さまざまな種目で競い合った。

【学年種目】  
一年 「足並みそろえて」(ムカデリレー)

体育祭は十月二日(火)に開催された。当日は秋晴れの爽やかな天候に恵まれ、学年種目、一般種目、部対抗リレーなど、さまざまな種目で競い合った。

【学年種目】  
一年 「足並みそろえて」(ムカデリレー)

選手宣誓(開会式)



二年 「大平台リレー」(障害物競走リレー)

三年 「担任送り」(仮装リレー)

かつての「國高リレー」は一年生の学年種目から、現在では「國栃リレー」として全学年での種目となり、学年ごとのレースで上位二位に入ったクラスが決勝に進出し、國栃ナンバーワンを決定する形となっており、会場全体が大いに盛り上がる種目の一つとなっている。さらに昨年度から導入された「借り人競争」では、お題が書かれたカードを手に選手が観客席を駆けまわる姿が見られる、楽しい種目だ。観客も傍観者ではないはず、思いがけず選手に手を引かれてグラウンドに走り出て行くことになったりする。

## 部活動の活躍

### 〈運動部〉 インターハイ

北部九州全国高等学校総合体育大会が七月二十五日(木)〜八月十四日に開催され、柔道部・なぎなた部・ハンドボール部・バレーボール部が出場した。柔道部は酒井結海選手が準優勝、小林杏遙選手が五位に入賞。なぎなた部は坪山遙音選手が三位入賞を果たした。



小林選手(左)と酒井選手(右)



準決勝での坪山選手(左)

### ◇バレーボール部



春高バレー 35年連続出場

### ◇ラグビー部

全国高校ラグビーフットボール大会 第一〇四回全国高校ラグビーフットボール大会が十二月二十七日から開催され、母校ラグビーが出場。明和県央高(群馬)、京都工学院(京都)、石見智翠館(島根)との試合を制して順調に駒を進め、準決勝で桐蔭学園(神奈川)との試合に敗れた。日本中でインフルエンザが猛威を振るう中、選手たちは体調管理にも細心の注意を払いながらの戦いであったが、見事に三位というすばらしい結果を残した。また、この大会報告が一月の始業式で行われ、その様子はとちぎテレビでも紹介された。

